

かわいそうな王子様は

悪い魔法で

お城のメス便器に

されてしまいました







女のよ
うな
衣装を
まどつて



娼婦のよ
うな

淫らな真似を
している

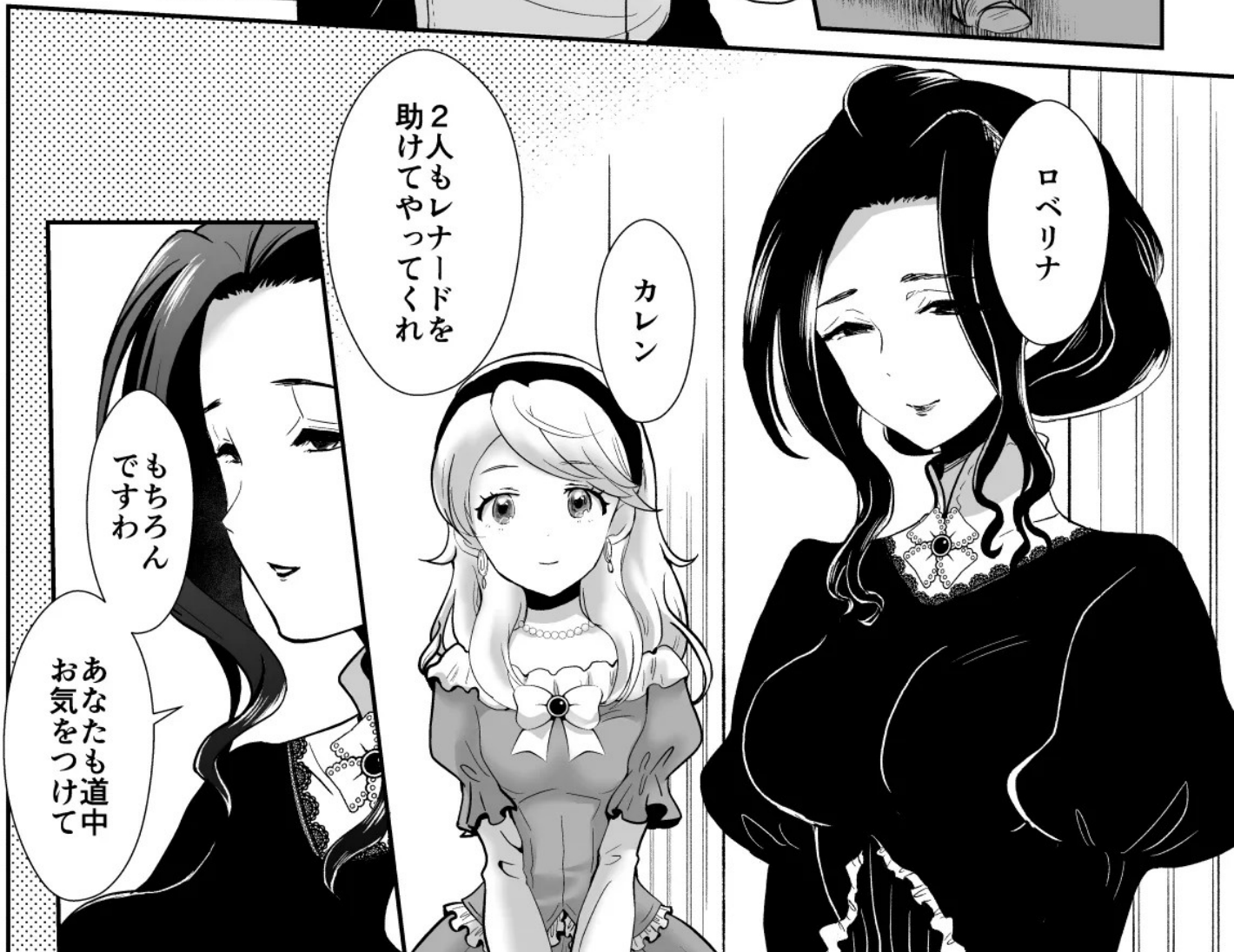


留守の間はすべて
お前に任せる

うむ

お気をつけて
父上

頼んだぞ
レナード



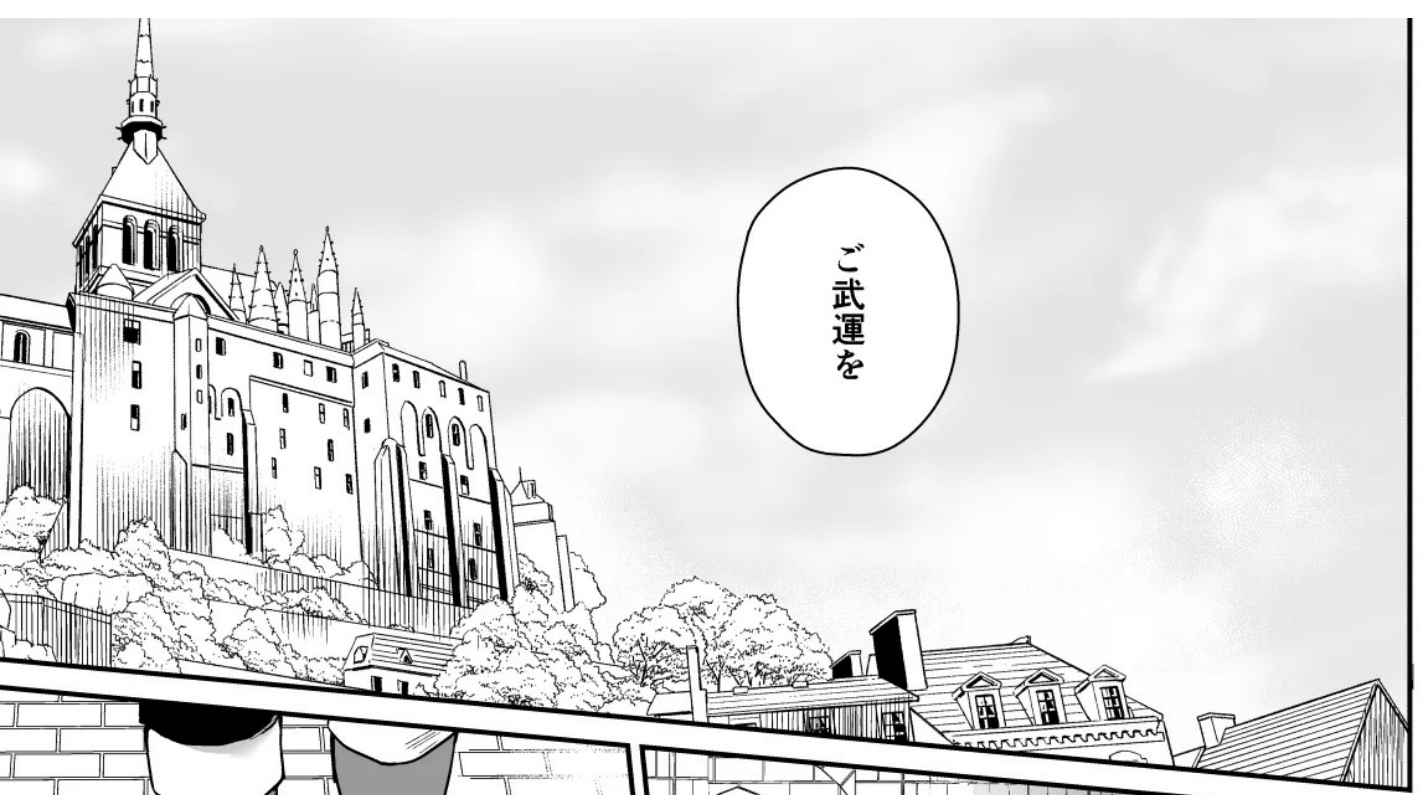
2人もレナードを
助けてやってくれ

カレン

ロベリナ

もちろん
ですわ

あなたも道中
お気をつけて



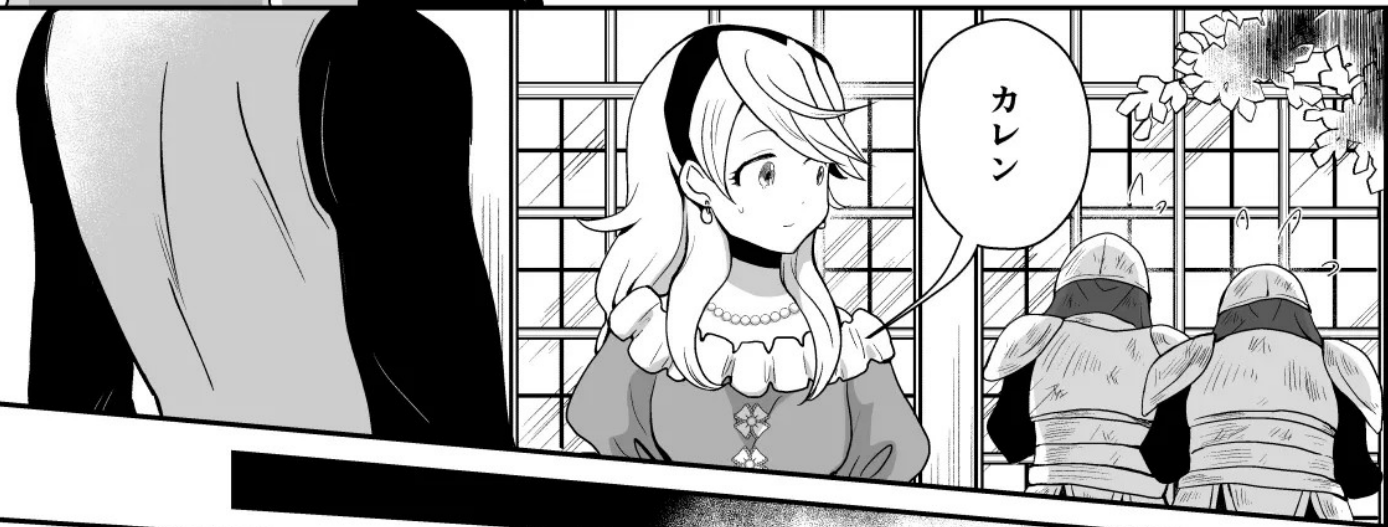
ご武運を

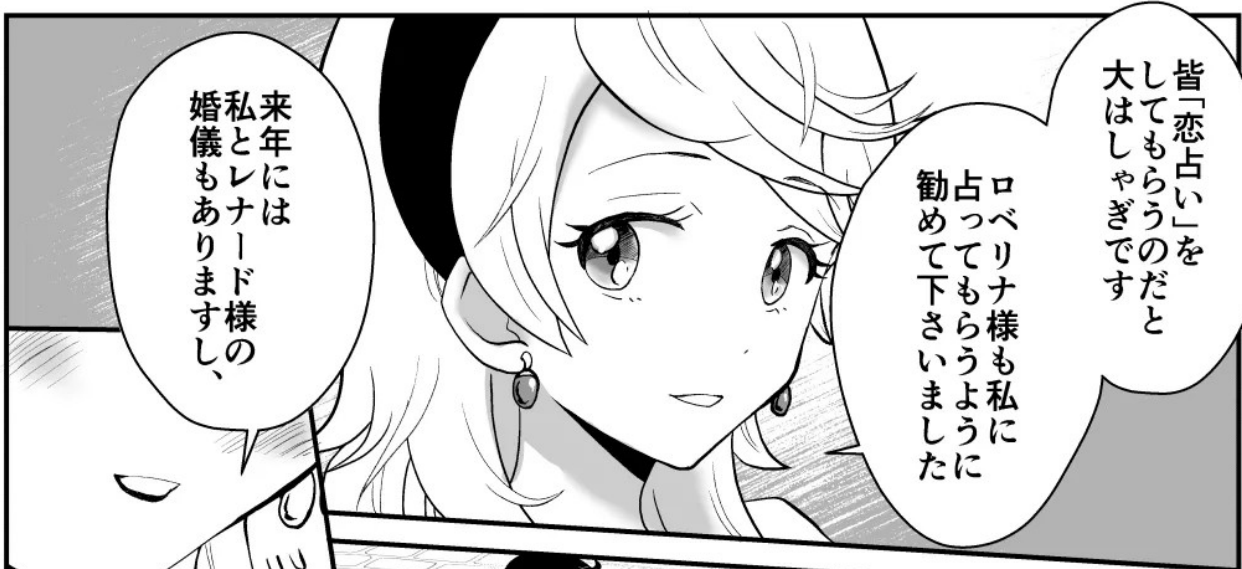


はあ、戦か、
おつかねえなあ





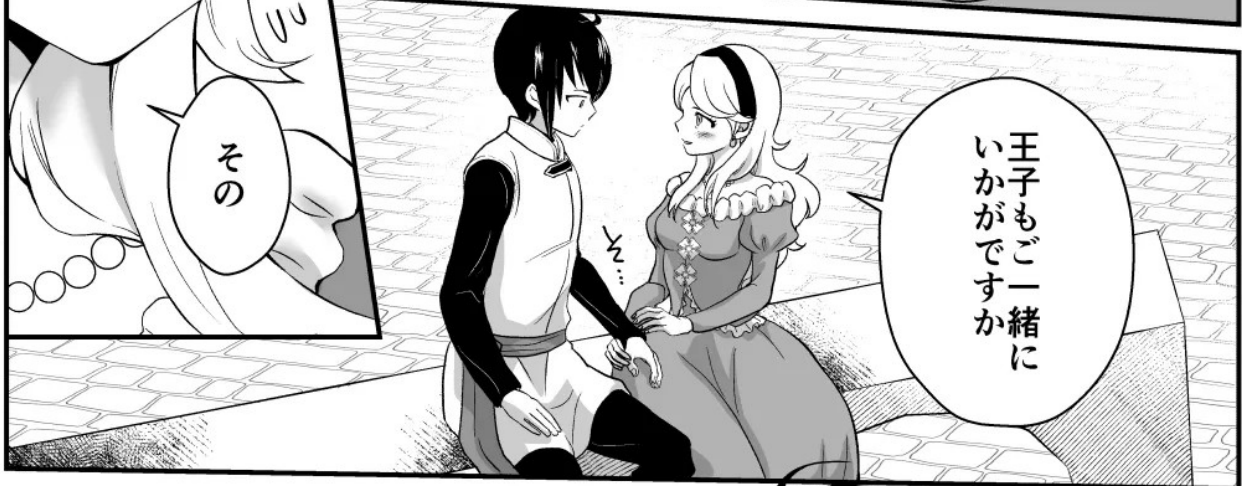




皆「恋占い」を
してもらうのだと
大はしゃぎです

ロベリナ様も私に
占ってもらおうように
勧めて下さいました

来年には
私とレナード様の
婚儀もありますし、



王子もご一緒に
いかがですか

その



馬鹿なことを
言うな

きゃ

父上は占い師や
まじない師の類は
城内に招き入れる事
は禁じていたはずだ

人の心を惑わす
怪しげな輩だと

お待ちしておりました
レナード王子

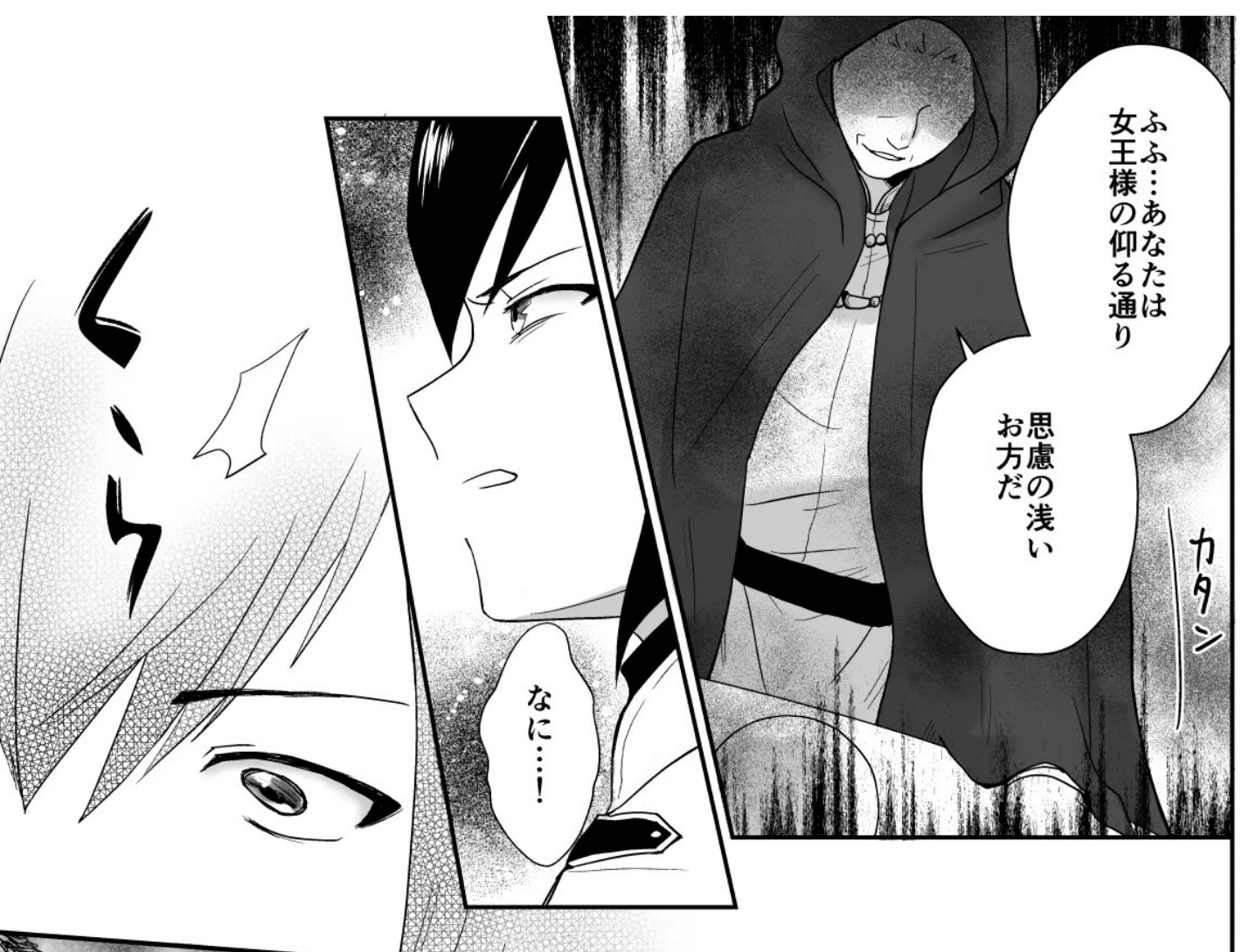
得体の知れぬ「占い」など
母が許しても私が許さぬ

今すぐこの城から
出ていけ

そう言われましても
私は女王様より
あなた様を占うようにと
仰せつかっておりますゆえ

そんなもの
私には必要ない！

三ノ



ふふ…あなたは
女王様の仰る通り

思慮の浅い
お方だ

カタシ

なに…!



自らの剣技に
自信があるとはいえ

「得体の知れぬ」
占い師の元に
護衛もつけず
単身で乗り込むなど

なんだ

身体が

次期王としての
自覚が足りないようですね
レナード王子

兄上が

討ち死にした…？

いやああああ

嘘よ嘘だわ
私の王子

これは
5年前の……

母上…

ははうえ…？

レナード
これからはお前を
次期国王として
教育していく

亡き兄を
越えてみせろ

触らないで
汚らわしい!!!



これ…は

ピク

なぜ私は
このような格好を

これでは
まるで

そう
娼婦です

夜も
更けました

これから
あなたは

毎晩城中の兵士たちに
娼婦のように
奉仕しなくては
なりません

……!!

お忘れですか？

王に任された
大切な仕事ですよ？

……無理だ

そのようなことは……
できない

おや
なかなかしづとい

もう少し
強めの暗示を…

私には経験が

ない

どうすればいいのかわからない

婚約者の
カレン様とは？

母が正式に婚儀を
交わすまでカレンには
触れてはならぬと
それが男女の礼儀だと
教わった

キラ

なるほど
そうでしたか



占いごととは関係なく、
私によければ
お手伝いできますよ

私も
男ですからね



本当か
しかし…

城の者には
聞きにくい事も

部外者である私になら
話しやすい事も
あるでしょう



どうせ私は
ここを去る身ですから

そう…だな

すまない、
私はお前を
追い出そうとしたのに

父が留守の間
私の助けになってほしい

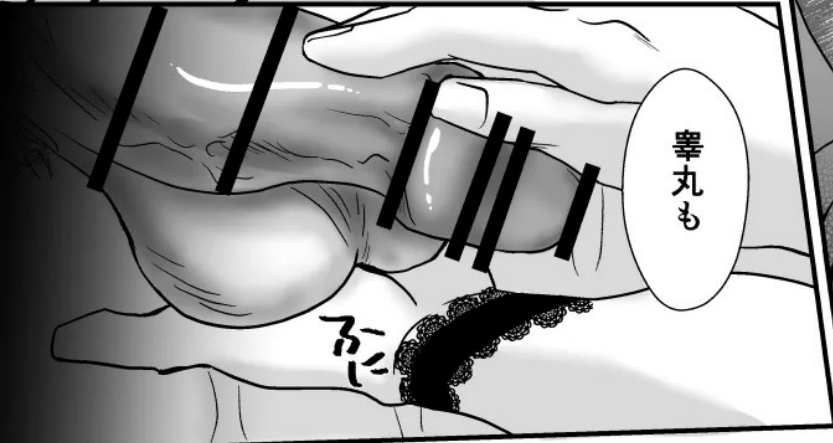


手で包み込むように
優しく触れて下さい

これを触る



それではまず
手と口を使って
奉仕してみましよう



睾丸も



!!!

口に唾を溜めて
私の亀頭を濡らすんです



やわらかくて
重い



ツバで

濡ります

舌



亀頭の先を舌でやさしく刺激して

ひちゃ

にちゃ

吐き気がする…でも…

すじいにおいだ

イヤな味…

父上に
失望されたくない

睾丸も口に含んで
手は竿や亀頭を刺激して

カリや裏筋も
舐め上げて下さい

あなたの小さな
可愛い舌でね

上手ですよ

どんだん
固くなってる





次は喉奥を絞めて
女性器のように
私を締め上げて下さい

だから…女性器が
「締め上げる」など

ははは

私にはわからぬと
言っているのに…!



ははは

ん…っ

ははは

んぐ

ははは

ははは

んぼ

ははは

ははは

吐いては
いけません

すべて
吸い出して飲み干して
下さい



はっ

はっ

はっ

ぬちゅ

はっ

そうです
王子は才能が
おありだ

今日はこちらが入るまで
慣らしましょう



なんだ
それは

スリ...

ここに男根を
受け入れるための
性具ですよ

入れる...?
おとこ...?



はっ

入るはずがない
そんなもの

よせ!
何をする...!



ご安心下さい

あなたの負担を
減らす薬を
塗っております

ぬちゅ

だんだん
楽になってくる
はずです



少しずつ広げて
慣らしていくんですよ

くちゅ

とろろ

ぬちゅ



そろそろ効いてきたようですね

変だ

身体が熱い

痛いばかりでは
続きません

負担を減らして
より多くの精を
処理できるようにしないと
いけませんからね

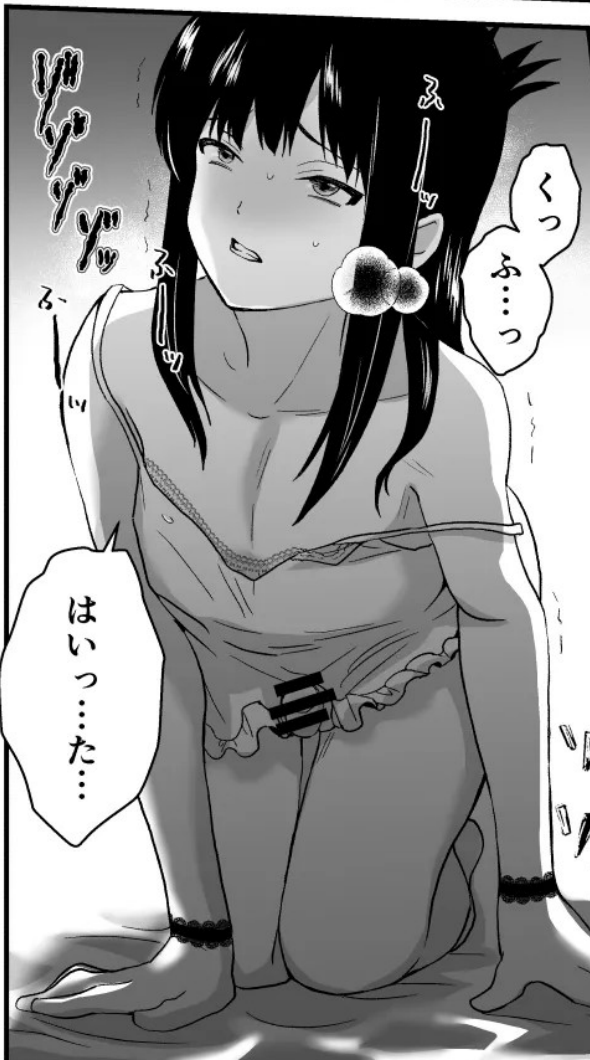
ぬほま



自分で…



さあこれを
ご自身で
挿れて
ごらんなさい



そんなことは
ごさいません

とろろ

...

男の胸など
触ったところで

気持ち悪い
だけだろう

触れられる事で
あなたが
乱れる姿に

男は興奮する
ものです

どこに触れられても
喜べるような

淫らな身体に
生まれ変わって
もらいますよ

生まれ
変わる...

王子



ここにも薬を
塗ってあげましょう

変わりたい



私は



手が止まって
ますよ

しっかり
ご自身で解さないよ



ピリピリ
する……

いいですね、
狭くて
絡みついてくる

奥に……っ

はっはっはっ

はっはっはっ
はっはっはっ

届いて

はっはっはっ
はっはっはっ

頭がおかしく
なる……う……

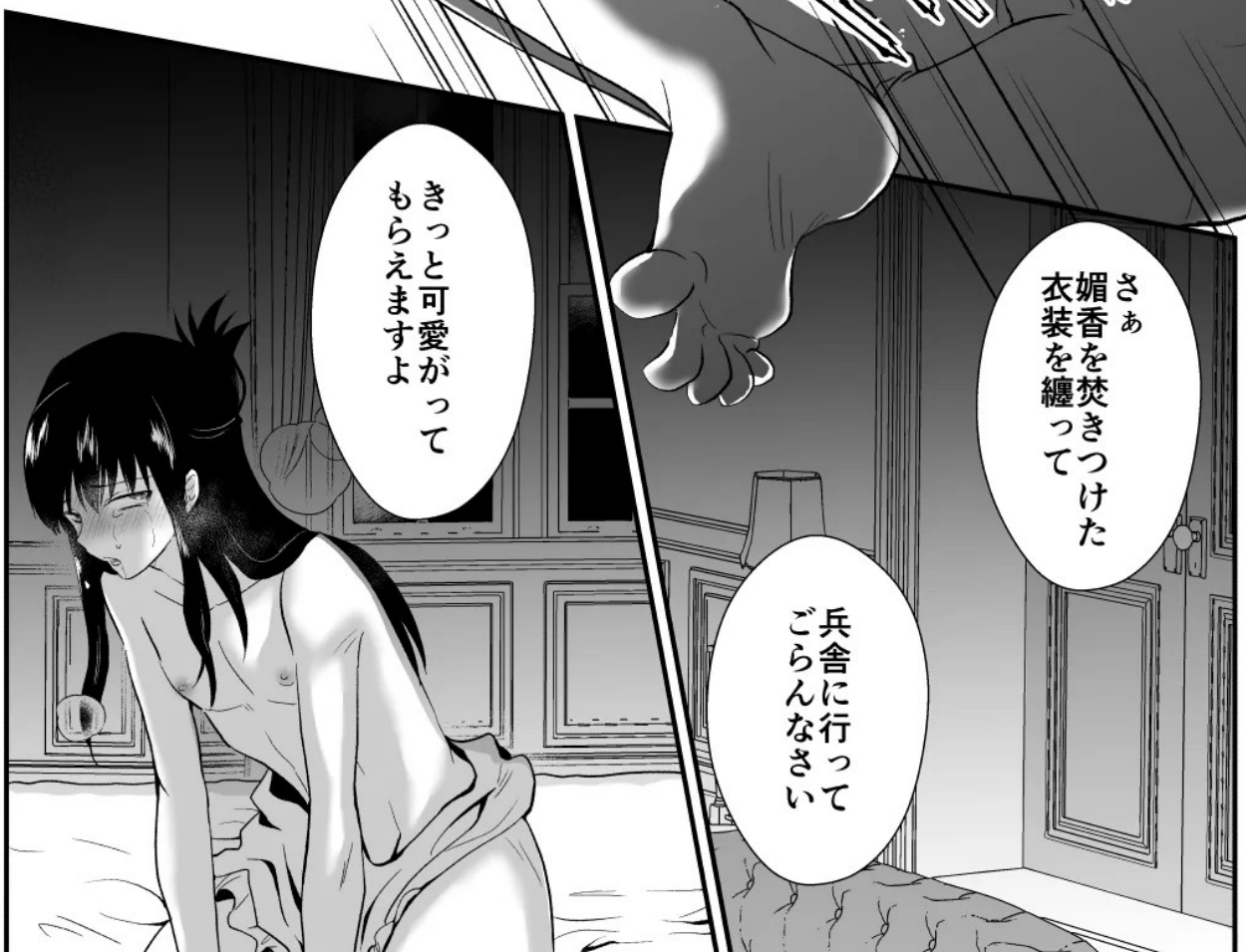
はっはっはっ
はっはっはっ

痛みは
ないはずす

ね、王子

はっはっはっ
はっはっはっ

はっはっはっ
はっはっはっ



きつと可愛がって
もらえますよ

さあ
媚香を焚きつけた
衣装を纏って

兵舎に行つて
ごらんなさい

媚香と薬で
身体が疼く



上手くいくの
だろうか

男の私が
女装などで



王子のままでと
皆委縮して
しまいますよ

慣れるまでは
媚婦のつもりで
おやりなさい

確かに：
そうだな

私は皆に
疎まれてるし：

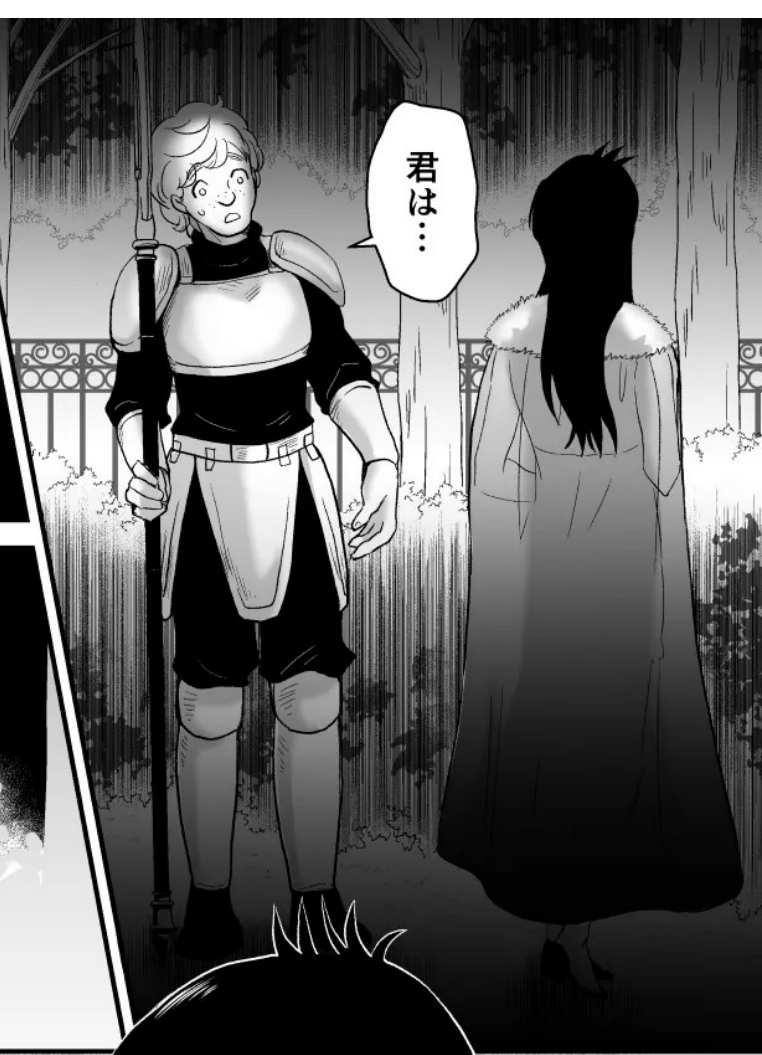
王子としてではなく
媚婦になったつもりで：

誰だ





私はレナと
申します



君は…



娼婦…だよな
誰かが呼んだのかな

えっと…
レナ

どうしたの、君
こんな所で…

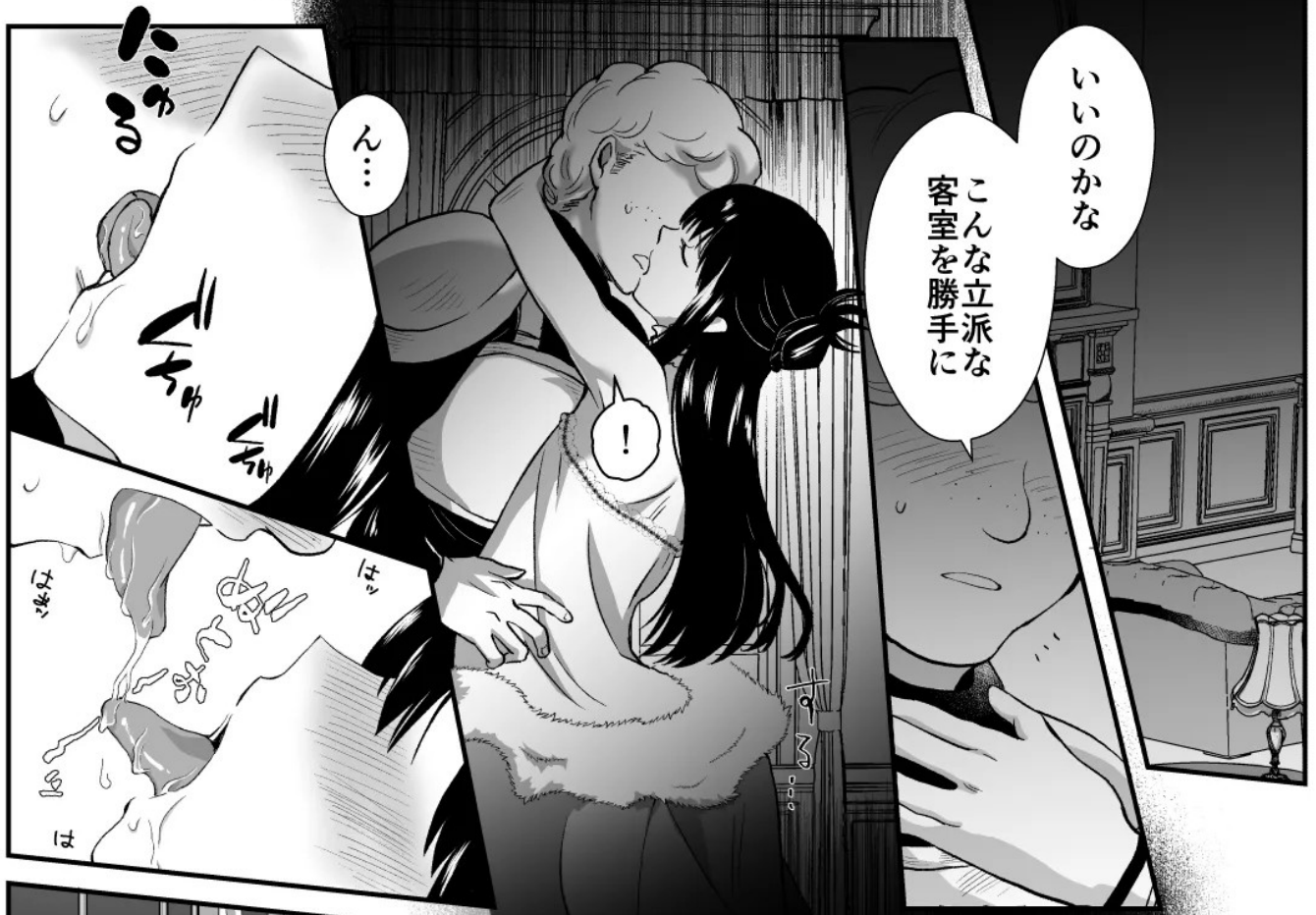


たくさん
ご奉仕いたします

騎士様どうか
私を使って下さいませ

男娼か
男!

いい香り
くらくらする





香のおかけとはいえ、
こんなな反り返って…



あ

もう
固くなって
いますね

大丈夫
習った通りに
奉仕をすれば

かり



早く
私の中へ…♡



素敵です
ハンス様

あ…あ…
レナ…

グ



んんお

はあああ♥

おきき♥♥

レナ

おちゅっ

すじ

ちゅ

ちゅ



待って待って
出ちゃうよ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

おちゅっ

おちゅっ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

おちゅっ



あ
ハンス様...あ

まだ
できるよ

ね、
もっとしよう

気持ちいい

私が気持ちよく
なつてどうする

さつきよりも
ずっと...!!

私の仕事は
目の前の男に
奉仕することなのに

はっ
はっ
はっ

はっ

はっ
はっ
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はん
はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

は

は

は

はん

はん



でも

抑えられない

あう

こんなに
たくさんに...



キレイに
しましようね

溢れるほど
精を注いで
もらえた



うれしい

うれしい

私は

父上に

国に
貢献している

また会える？

お店があるなら通うから、
君のこともっと教えて

明日の晩も
お会いしましょう

たくさん
可愛がって下さいね





♪

♪

うふふ

とら

♪

ちゅ

つ

か

レかわいい
ちやん

明日はどんな衣装に
しようかしらあ

